

(公表用様式)

## 業務再点検結果報告

組織名	林野庁 東北森林管理局 由利森林管理署	連絡先	0184-22-1076
所管する業務の概要	国有林野の管理経営、治山事業の実施、森林環境教育の推進等		

1. 基本的な心構え・行動	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
<p>○接遇については、研修実施後、接遇マニュアルに基づき、業務の中で実践</p> <p>○政策外交員として、農林水産省広報やHP等の情報により、政策等の理解に努力</p> <p>○森林施業や治山事業等の実施により、地域住民の生活への影響や希少野生動植物の生息等に影響を及ぼす場合があり、影響を評価・分析し、影響を最小限にするなど配慮した事業実施を推進</p> <p>○国民からの意見等については、現状分析、実施効果の見極めを行い、相手方の意図も尊重しながら対応</p> <p>○国民への情報提供については、各種図面やパンフレット等分かりやすい情報となるよう努力、また、事業実施による林道の通行制限や薬剤散布等地域住民への周知を推進</p>	<p>○接遇のモチベーションを高めるため、強化月間等の取組が必要</p> <p>○林野庁以外の他部局の政策等を十分理解するのは困難であり、研修等や他部局との交流が必要</p> <p>○利害の及ぶ範囲が不明確であることから広く事業に対する意見等を把握する取組が必要</p> <p>○意見等への対応について、一定期間内に結論を出し、相手方へ返答するなど手順、ルールを定める取組が必要 また、その対応の評価を把握し、反映される仕組みが必要</p> <p>○情報提供に当たっては、専門用語解説集などを準備しておくことも検討 また、地域住民への周知に当たっては、内容や周知範囲が妥当かについて確認が必要</p>

2. 政策・事業等の企画立案・推進	
<p>・現在行っている取組や工夫</p> <p>○国民の政策ニーズについては、森林ガイド事業におけるアンケート調査、治山事業における地元説明会(現地)、各種現地検討会等で把握</p> <p>○国民への政策等の説明については、治山事業や薬剤散布での地域住民への説明、地元高校生に対する森林教室で間伐の目的、効果等の学習、列状間伐等森林施業の説明看板の設置に取組</p> <p>○国民視点に立った庁舎の施設や展示物の点検を行い、今後予算の範囲内で対応予定</p>	<p>・点検によって得られた課題とその改善策</p> <p>○直接、事業との関連が少ない方からもニーズを把握する仕組みの検討が必要</p> <p>○事業によっては、説明する仕組みがないため、その手順等の整備や部署内での説明方法の共有の仕組みについて検討が必要、また、相手方の理解度についてもアンケート調査等により把握することも検討</p> <p>○予算措置も伴うことから年度計画を作成し、対応することを検討</p>

3. リスク管理	
<p>・現在行っている取組や工夫</p> <p>○ナラ枯れ発生や入札・契約事務、法令に伴う各種協議等においてリスクの顕在化が見られたが、関係者での事案の共有化を図り、問題点の洗い出しを行い、対応を措置</p> <p>○ヒヤリハット事例集を A4 ファイルに整理し、目につく場所に配備して、連絡対応、電話対応、組織内コミュニケーション等の関して業務の参考とする取組</p> <p>○森林施業の実施に当たり、引継書類等により過去の希少猛禽類に係る事案を把握し、周辺での施業の見合わせ等行うなど過去の失敗等を教訓に対応</p>	<p>・点検によって得られた課題とその改善策</p> <p>○幅広に事案の共有、原因分析等の取組が必要、また、法令に伴う各種協議で認識が不十分なところも見受けられ、十分な指導と併せ、協議の窓口部署が定期的に事業のスケジュール等を把握し、担当者との打合せを実施することを検討</p> <p>○ヒヤリハットの更なる活用のため、新規情報について、業務に関連し、参考となる事例を抽出し、職員へ周知する取組を検討</p> <p>○希少な野生動植物の生息状況等貴重な情報を幅広く共有する仕組みを検討</p>

4. 食の安全に関する取組	
<p>・現在行っている取組や工夫</p> <p>○当署は、食の安全に直接関わる部署ではないが、署全体として全体会議や関連情報の回覧で意識の向上に努力</p>	<p>・点検によって得られた課題とその改善策</p> <p>○水源となる森林を管理経営する部署として、水の安全に対する配慮が不十分でないか等、国民視点からの点検・対策が必要</p>

5. その他の重要な取組	
<p>・現在行っている取組や工夫</p> <p>○風通しのよい職場づくりの一環として、オープンスペースにミーティングテーブルを設置し、随時打合せを実施</p> <p>○事業担当者は、極力、現場へ出向き、技術習得や情報収集等を行うよう取組</p> <p>○当署イベントに担当者以外も積極的に参加させ、国民との交流の機会を設け、業務に関する評価や反応を体感</p>	<p>・点検によって得られた課題とその改善策</p>